

第27回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和3年6月15日（火）

○場 所 書面による説明

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 第Ⅱ期工事の状況
- (2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備
- (3) 水質調査及び藻場分布状況の確認

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流等
- (2) まちづくりへの支援

IV その他

- (1) 日米共同基地警備訓練
- (2) 近畿中部防衛局広報誌

○出席者の意見等の概要

- (1) 第Ⅱ期工事の状況等について

【意見要旨】

- ・ 米軍人の通信所への入居は通勤途上の事故防止にも繋がるので、速やかな入居に努めるとともに、入居作業に係る大型車両の通行等については必要最小限とするなど、地域住民の生活環境へ最大限配慮いただきたい。 (京都府)
- ・ 隊舎への入居時期が「夏頃入居予定」から「夏後半を目標」へ変更となっているが、予定が更に遅れる要因の説明を求めるとともに、入居時期が決定され次第、速やかに地元等へ情報提供すること。 (京丹後市)
- ・ 本件にかかわらず一旦、周知した予定については、原則、遵守するよう米側へ強く求めること。なお、やむを得ず予定が変更となる場合は、事前に地元をはじめとした関係機関へその要因も含め、速やかな情報提供を要請する。 (京丹後市)
- ・ 隊舎への居住はいつから始まるか正確な情報が欲しい。 (地域住民代表)

【説明要旨】

- ・ 米側に確認したところ、現在、食堂や施設メンテナンスを行う業者の決定待ち等の状況とのことであり、引き続き隊舎への入居予定は夏後半を目標としていると承知。なお、司令官や日本人従業員の事務室については、7月中に引っ越しを完了する見込みと聞いている。

当局としては、今後の入居に向けたスケジュール等について米側からの情報収集に努め、得られた情報については地元の方々に共有するとともに、米側において可能な限り速やかな入居が実現するよう促してまいりたい。また、大型車両の通行等についてのご懸念については、米側にお伝えする。

(近畿中部防衛局)

(2) 交通安全対策に対する取組について

【意見要旨】

- ・ 軍人の隊舎入居に伴い、基地への通勤車両が減少する反面、隊舎入居軍人の日常生活のための車移動が増加することと想定していることから、更なる交通安全対策とともに、宇川地域の観光振興・地域活性化のため、「Xバンドレーダー関連道路連絡調整会議」(H25.11.22)において要望した(仮)「屏風岩橋」の事業化される際の財政的支援についても強く要請する。(京丹後市)
- ・ 隊舎への居住が始まるが、交通事故がおこらないよう注意喚起をしてほしい。(地域住民代表)
- ・ 今後、海水浴シーズンを迎えるが、近隣の大規模な海水浴場がコロナの影響で開設されない可能性があり、観光客が京丹後へ集中する可能性がある。交通安全には引き続き十分留意されたい。

(地域住民代表)

【説明要旨】

- ・ 近畿中部防衛局としては、機会あるごとに、米軍に対し交通安全の徹底を繰り返し要請するとともに、これまでに交通安全マップや交通安全に関するポスターの掲示、交通安全講習会の実施など各種施策に取り組んできており、これら施策を継続し、引き続き、交通事故の未然防止に努めてまいりたい。
- ・ 交通安全講習会については、米側の入居を念頭に、日本の交通ルールや地元の交通事情に関する情報提供を含めた座学講習を7月末に予定している。
- ・ 米軍経ヶ岬通信所の新たな設置に関連して、京都府が事業主体となって浜丹後線ほか3事案を当省の補助事業等として実施しているところ。国の財政状況が厳しい中ではあるものの、事業主体である京都府をはじめ、京丹後市や地域住民からの御要望を踏まえ、引き続き、予算の確保に努力してまいりたい。
- ・ なお、(仮)「屏風岩橋」については、自衛隊等の運用に伴う障害の実態を踏まえた上で検討する必要があると考えている。(近畿中部防衛局)

(3) 水質調査及び藻場分布状況の確認について

【意見要旨】

- ・ 通信所からの排水開始後における周辺環境への影響に十分配慮するとともに、地元住民からの要望を踏まえ、浄化槽の管理及び排水開始後における周辺海域の海水の水質調査及び藻場分布状況の確認について、適切に対応いただきたい。(京都府)
- ・ 軍人の隊舎入居が夏後半と時期が変更となるため、隊舎入居後の水質検査の時期についての説明を求める。(京丹後市)
- ・ 6月に1回目を実施するとの説明が以前なされたが、米軍人の居住が始まり、予定されている処理水全量の排出が始まった際にはあらためての情報提供を要請する。(京丹後市)

- ・ 上記に関連し、海への1日の排水量等、現在の状況の説明を求めたい。(京丹後市)

【説明要旨】

- ・ 米軍においては、環境保護のため、日米の関連法令のうちより厳しい基準を採択するとの基本的考えを採用しており、通信所内で生じる汚水についても、隣接する航空自衛隊経ヶ岬分屯基地と同様、浄化槽で適切に処理の上、通信所内の海側の地点から排出することとなっている。浄化槽そのものについても、隣接する空自基地と同様の仕様であり、日本の環境基準に適合する製品である。また、米側においては、排出水の定期的な水質検査を含め、日本で行われている管理と同様に適切に管理を行い、周辺環境に影響を及ぼさないよう徹底すると聞いている。
- ・ 当局としても、地元の方々のご不安やご懸念を踏まえ、排出による海の環境への影響を確認するため、周辺海域の海水の水質調査と藻場分布状況の確認(排出開始前後の比較)を実施しているところであり、排出開始前の調査及び状況確認を昨年6月に実施した。
- ・ また、今般、浄化槽による処理水の排出が開始されたことを踏まえ、専門業者との日程調整及び天候等を検討した結果、本年7月1日及び2日の両日に、排出開始後1回目の調査及び状況確認を実施したところである。今後、2回目の調査及び状況確認の実施時期については、浄化槽の稼働状況及び地元のご意見を踏まえつつ、検討してまいりたい。
- ・ 当局としては、海への1日の排水量について承知していないが、浄化槽の稼働や調査等の状況は前述のとおりであり、今後も引き続き地元への情報提供に努めてまいりたい。(近畿中部防衛局)

(4) 日米共同基地警備訓練について

【意見要旨】

- ・ 全ての訓練参加者について、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底させるとともに、特に米本国から参加する米軍関係者については、入国時における検疫措置等を徹底させていただきたい。(京都府)
- ・ 訓練における安全管理対策の徹底はもとより、施設外での車両の運転時等における交通安全の確保に努めていただきたい。(京都府)
- ・ 米本国から参加する米軍関係者については、滞在期間中、経ヶ岬通信所及び航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の敷地内から外出させないようお願いしたい。(京都府)
- ・ 訓練の実施に当たっては、地域住民の生活に影響を与えないよう、十分に配慮いただきたい。(京都府)
- ・ 空包や銃火器を使用する場合、及び訓練内容に変更が生じた場合には、地元が不安を抱かないように万全の配慮をするとともに、速やかな情報提供を要請する。(京丹後市)
- ・ 米軍経ヶ岬通信所での訓練(日米共同訓練含む)を実施する場合は、例年実施している訓練であっても、地元住民等へ事前に丁寧な説明を、引き続き要請する。(京丹後市)

【説明要旨】

- ・ 日米の訓練参加者は、マスクの着用、検温による健康観察、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保など、恒常的に実施している感染防止対策を徹底すると聞いている。また、国外から訓練に参加す

る米軍関係者は、2回のワクチン接種を完了していることに加え、入国前のPCR検査、2週間の隔離を経た後に再度のPCR検査を受検し、陰性が確認された者だけが演習に参加することとなっていると聞いている。なお、不要不急の外出は行わないとのことである。

- ・ また、訓練の実施にあたっては、自衛隊車両の運行を含め、地元への配慮と安全管理を徹底すると聞いている。当局としては、今後も経ヶ岬通信所における訓練情報に接した場合には、必要に応じ、事前説明等を適切に実施していく考えである。(近畿中部防衛局)

(5) その他

【意見要旨】

- ・ 「三角地」の活用を具体化してほしい。(地域住民代表)
- ・ 袖志区有の墓参用駐車場を一時利用したい場合には、墓参への支障とならないよう留意されたい。(地域住民代表)

【説明要旨】

- ・ 三角地の整備については、提供前に発注された第Ⅱ期工事の計画には含まれておらず、現在、設計を行っている段階と米側から聞いている。三角地は通信所への円滑な車両入門を確保し、地域の交通安全に資することを目的として米側へ提供したものである。その趣旨に沿って可能な限り早期に整備が行われるよう、局から米側の新司令官にも着任後速やかに依頼しているところである。
- ・ 駐車場についてのご懸念については、速やかに米側にお伝えし、米側においても注意喚起がなされたものと承知している。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 新型コロナに感染者の情報があれば、しっかり情報提供をお願いしたい。(地域住民代表)

【説明要旨】

- ・ 在日米陸軍においては、ワクチン接種後においても、基地の外にある酒場や社交場への立ち入り禁止やマスク着用の徹底など、個々人が遵守すべき衛生要件を定めて、感染予防の徹底を図っているところと承知しているが、当局としても、引き続き、米軍と京都府の保健所や京丹後市との連携が円滑に行われ、感染予防策が万全となるよう可能な限りの支援をしていきたい。(近畿中部防衛局)

以上